

# 港湾・都市基盤整備推進特別委員会

日時：令和3年12月17日（金）  
午前10時  
場所：第3委員会室

## ○ 議 題

- 1 （仮称）八戸駅西中央公園整備事業について
- 2 八戸市緑の基本計画の見直しについて

## (仮称) 八戸駅西中央公園整備事業について

### 1. 事業の概要

本公園は、八戸駅西土地区画整理事業区域内の「集ゾーン」において、令和2年4月にオープンした「フラット八戸」に隣接する公園である。

市では、当アリーナを核としたまちづくり計画「八戸駅西地区まちづくり計画」を平成31年3月に策定しており、当公園のエリアビジョンである「アリーナと一体となった、健康的でスポーティーな公園」を目指し、各種スポーツ大会やイベント等を通じた賑わい・交流の場として整備を進めており、令和3年度で地方創生推進交付金を活用した公園整備事業は一旦終了する。



### 2. 整備計画

年度	事業内容	事業費(千円)	備考
H30	・基本設計	7,900	
R1	・測量、地質調査、実施設計(左岸) ・アリーナ隣接広場整備工事(左岸)、植栽工事(左岸)	100,400	
R2	・測量、地質調査、実施設計(右岸) ・多目的休憩所、アリーナ隣接広場整備工事(右岸造成)	103,000	
R3	・アリーナ隣接広場整備工事(右岸) ・植栽工事( )	140,000	
合計		351,300	

### 3. 今後の予定

- ・地域住民から要望されている人道橋やカフェ等の複合施設整備のため、財政負担の軽減を図る手法として、官民連携事業 (PPP、PFI) の導入を検討する。
- ・公園内の浅水川については、青森県が令和4年度以降に護岸整備を始める予定で、完成すると公園内に川が流れる市内唯一の公園となる。

## 八戸市緑の基本計画の見直しについて

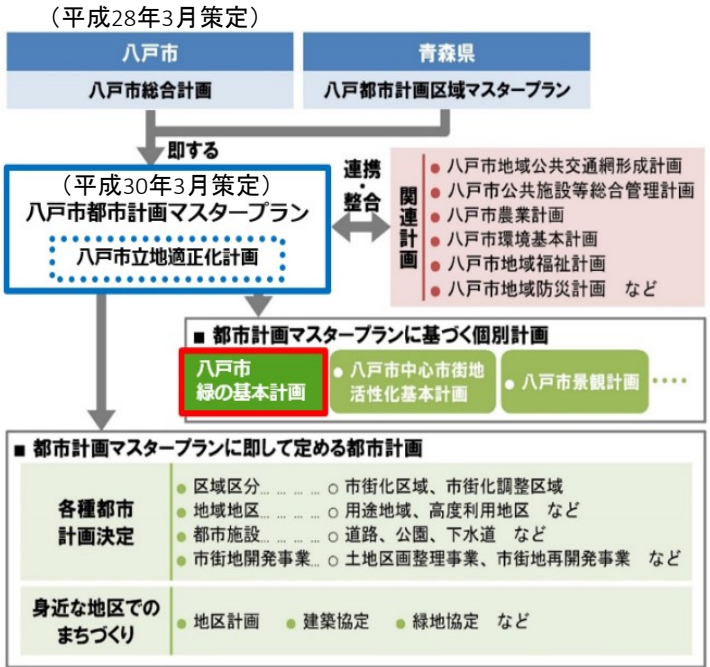
### 緑の基本計画の概要

「緑の基本計画」とは、良好な都市環境の形成を目的とした法律である「都市緑地法」に基づき、緑の適正な保全及び緑の推進に関する施策を、総合的かつ計画的に実施するため、目標と実現のための施策等を市町村が定める計画です。

現計画(平成16年3月策定)の目標年次(2023年)を迎え、人口減少・少子高齢化の社会への変化や都市緑地に関する大幅な法改正等、緑を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような背景を踏まえ、「総合計画」、「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」等の上位・関連計画との整合を図りながら、地域における緑づくりの課題を抽出し、緑の保全、活用に向けた方針と対策及び実現化への方策などについて、見直しを行います。

### 緑の基本計画の位置付け



### スケジュール(令和3年度～令和4年度)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
緑の審議会			第1回 8月23日				第2回 12月2日		第3回 2月16日						第4回			第5回			第6回		
事務局				住民意向調査 現況調査				緑の将来目標 課題の整理 緑の解析・評価				実現に向けた施策の方針				地域別計画等 計画案の作成				パブリックコメント			計画の公表

## 八戸市緑の基本計画（見直し） 住民アンケート

### 【目的】

- ・八戸市の緑に関する評価や課題の把握、今後の整備の方向性等を定量的に把握する。

### 【調査対象】

- ・市内を11地域に区分し、地域ごとに性別、年齢層のバランスを考慮した上、中学生以上の市民1,300名を無作為抽出。
- ・地域区分については、上位計画である都市計画マスタープランの地域区分と整合を図る。

### 【実施時期】

- ・令和3年9月中旬から月末にかけて実施

### 【回収状況】

- ・549票（回収率42.2%）

### 【属性概要】

- ・男女比は概ね半数ずつで女性がやや多い
- ・年齢は50～70歳代がそれぞれ15～17、他の年代は概ね1割前後
- ・会社員、公務員と無職がそれぞれ3割
- ・市内に20年以上居住している方が半数程度で、住居は一戸建てが8割

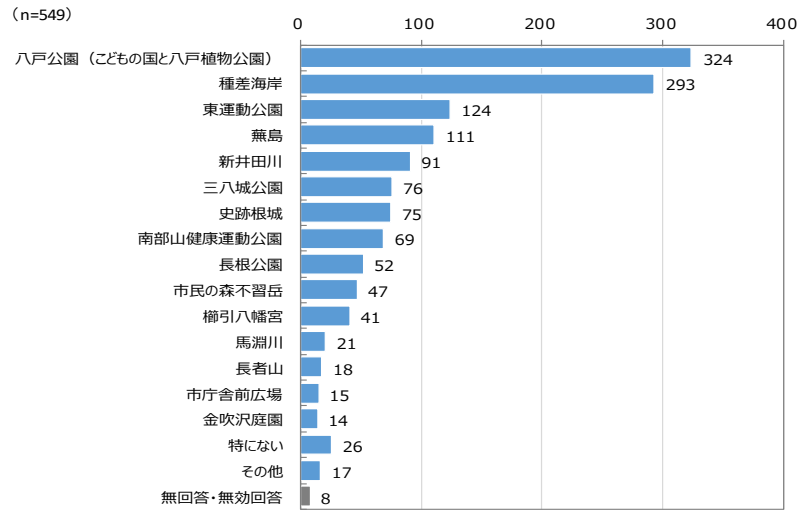
表 地域別回収率

	発送数	回収数	回収率
1.市川	71	35	49.3%
2.下長	109	41	37.6%
3.八戸駅周辺	67	33	49.3%
4.中央	363	139	38.3%
5.根城・田面木・新都市（白山台）	117	49	41.9%
6.湊・白銀・鮫	255	111	43.5%
7.豊崎	37	21	56.8%
8.館・是川	93	38	40.9%
9.大館	92	44	47.8%
10.南浜	44	13	29.5%
11.南郷	52	24	46.2%
無回答	0	1	—
合計	1,300	549	42.2%

## 八戸市内にある緑のうち、好きな緑はなんですか。

八戸市内の好きな緑は、複数回答で「八戸公園（こどもの国と八戸植物公園）」が最も多く、次いで「種差海岸」が、他の項目を大きく上回っています。以下には、「東運動公園」、「蕪島」、「新井田川」と続きます。

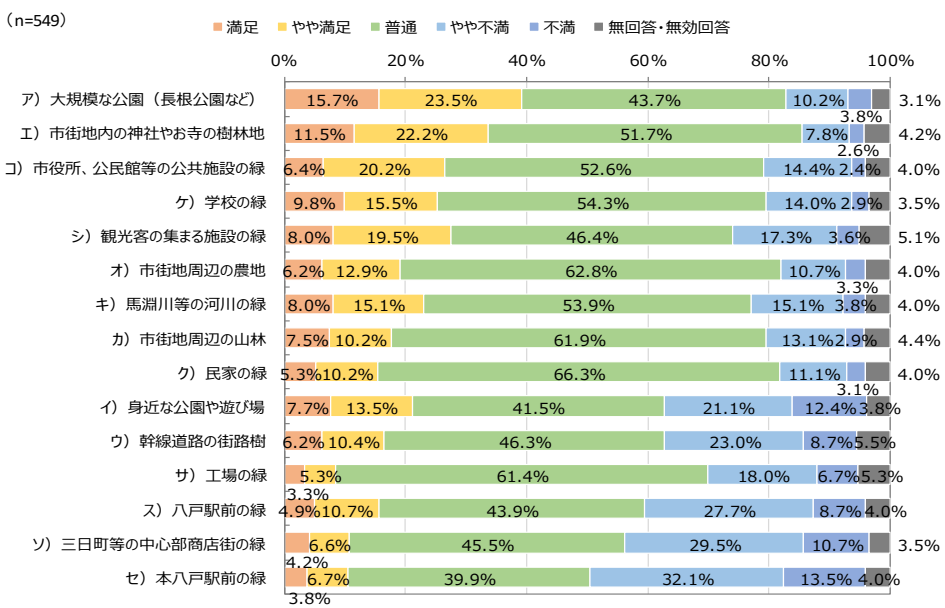
現行計画のアンケート調査結果と比較すると、「八戸公園」に対する評価が高くなっています。



※回答の多い順に表示

## 現在の八戸市内の緑をどのように感じていますか。

八戸市内の緑への満足度を見ると、いずれの項目でも「普通」という評価が最も多くなっています。満足度（「満足」と「やや満足」の割合の合計）が高い緑は、「ア）大規模な公園（長根公園など）」、次いで「エ）市街地内の神社やお寺の樹林地」となっています。一方、不満度（「不満」と「やや不満」の割合の合計）が高い緑は、「セ）本八戸駅前の緑」、次いで「ソ）三日町等の中心部商店街の緑」となっています。

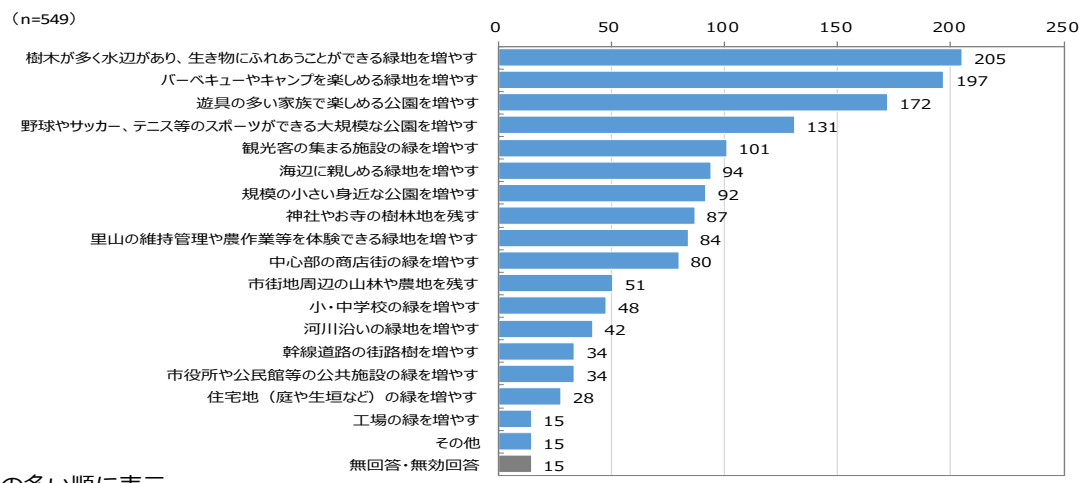


※満足度（「満足」と「やや満足」の割合の合計）から不満度（「不満」と「やや不満」の割合の合計）を引いた値の高い順に表示

**八戸市の今後の緑のまちづくりの方向として、ふさわしいものはどれですか。**

今後の緑のまちづくりの方向は、複数回答で「樹木が多く水辺があり、生き物にふれあうことができる緑地を増やす」が最も多く、次いで「バーベキューやキャンプを楽しめる緑地を増やす」、「遊具の多い家族で楽しめる公園を増やす」となっています。自然とのふれあいやレジャーを楽しむ場についての回答が多く挙げられています。

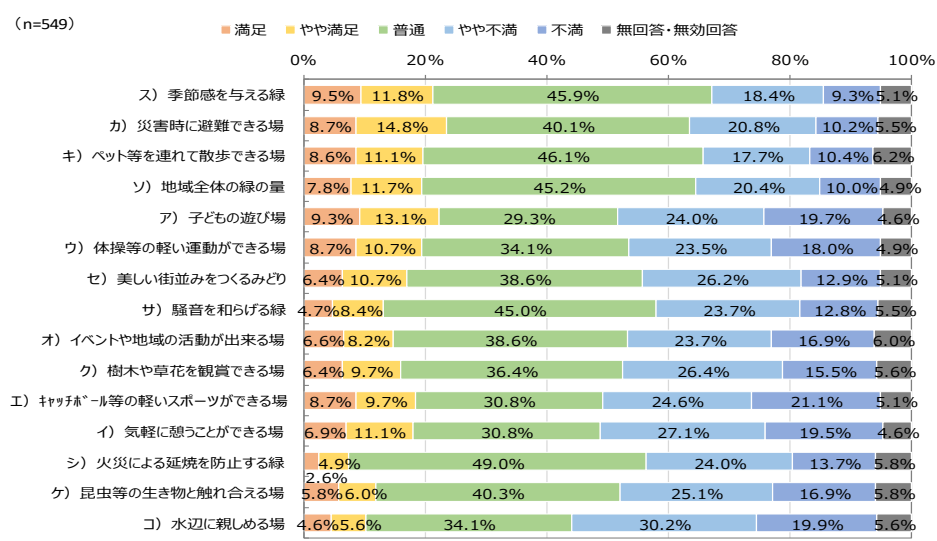
現行計画のアンケート調査結果と比較すると、「遊具の多い家族で楽しめる公園を増やす」という回答が多くなっています。



※回答の多い順に表示

**お住まいから歩いて5分以内（おおむね300m以内）の地域で、以下ア）～ソ）のような場所や緑についてどのように感じていますか。**

お住まいから徒歩5分以内の緑への満足度を見ると、いずれの項目でも「普通」という評価が最も多く、「満足」はほとんどの項目で最も少なくなっています。満足度（「満足」と「やや満足」の割合の合計）が高い緑は、「カ）災害時に避難できる場」、次いで「ア）子どもの遊び場」となっています。一方、不満度（「不満」と「やや不満」の割合の合計）が高い緑は、「コ）水辺に親しめる場」、次いで「イ）気軽に憩うことができる場」となっています。



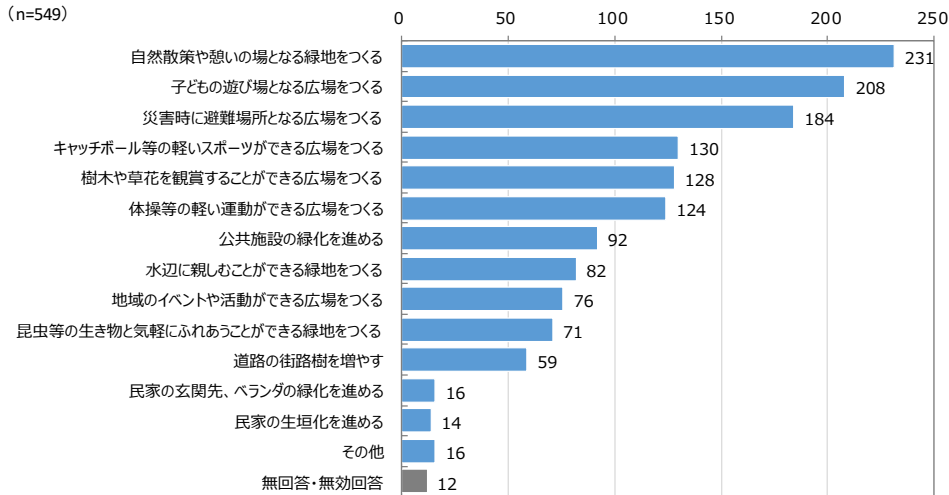
※満足度（「満足」と「やや満足」の割合の合計）から不満度（「不満」と「やや不満」の割合の合計）を引いた値の高い順に表示



**今後お住いの地域で取り組んで欲しいと思うことはなんですか。**

お住いの地域で取り組んで欲しいことは、複数回答で「自然散策や憩いの場となる緑地をつくる」が最も多く、次いで「子どもの遊び場となる広場をつくる」、「災害時に避難場所となる広場をつくる」となっています。

現行計画のアンケート調査結果と比較すると、「災害時に避難場所となる広場をつくる」という回答が多くなっています。

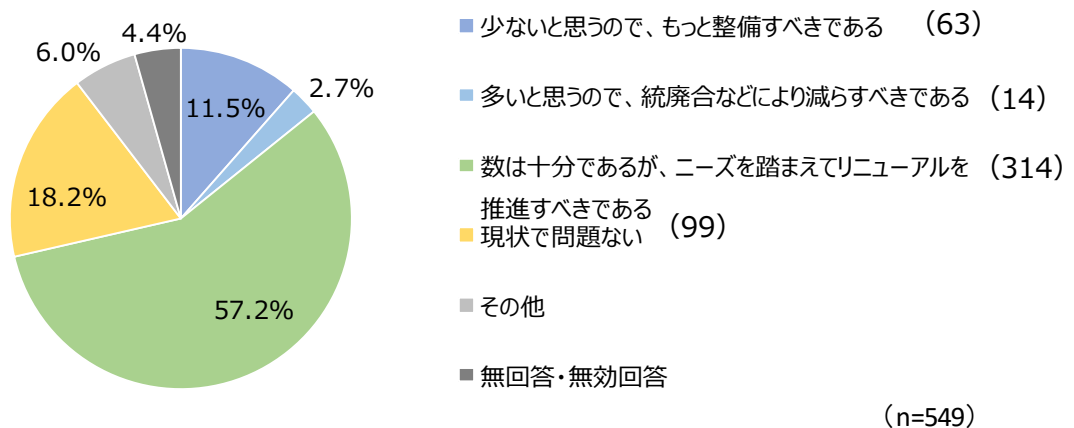


※回答の多い順に表示

**八戸市内には、長根公園などの大規模な公園から、住まいの身近にある公園まで、大小合わせると約300箇所あります。**

**公園の整備について、今後、どのようにすれば良いと思いますか。**

公園の整備については、「数は十分であるが、ニーズを踏まえてリニューアルを推進すべきである」が最も多く、全体の約6割を占めています。次いで「現状で問題ない」、「少ないと思うので、もっと整備すべきである」、「多いと思うので、統廃合などにより減らすべきである」、「その他」となっています。



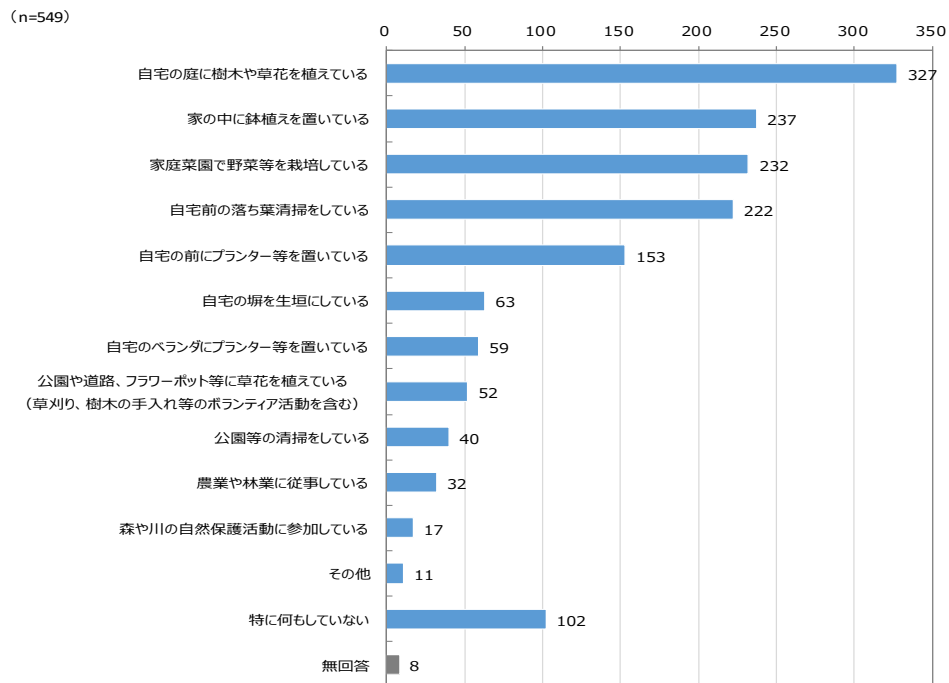
(n=549)

<その他の主な回答>

- ・身近に公園がすくない 8票
- ・維持管理が十分でない等 7票
- ・ニーズに合った場所、施設 4票

**あなたが現在取り組んでいる緑とのかかわりについて、あてはまる番号をすべて選んで、丸をつけてください。**

現在取り組んでいる緑との関わりは、複数回答で「自宅の庭に樹木や草花を植えている」が最も多く、次いで「家の中に鉢植えを置いている」、「家庭菜園で野菜等を栽培している」となっています。自宅で樹木や草花、野菜等を育てている回答者が多いことがわかります。

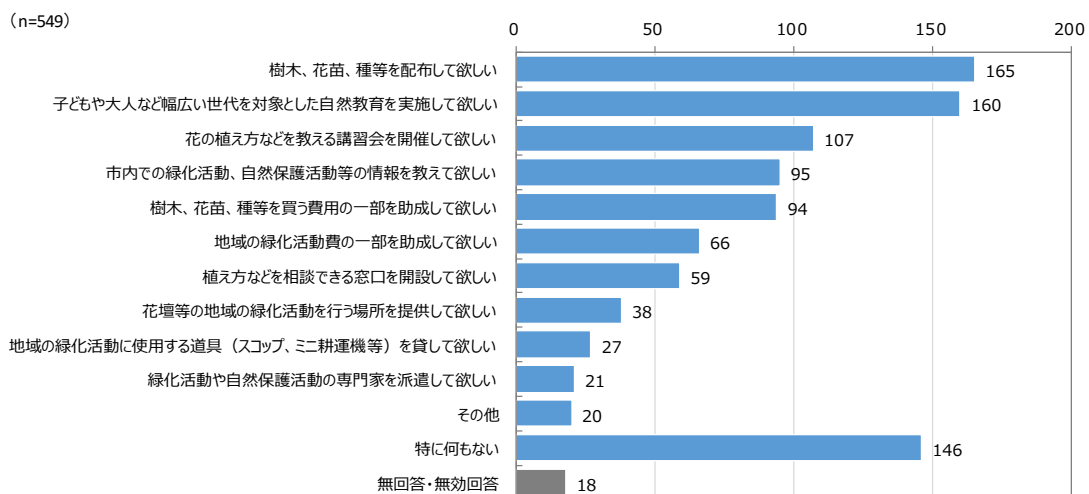


※回答の多い順に表示

**今後緑に関わっていく上でして欲しいこと、必要なことはなんですか。**

緑に関わっていく上でして欲しいことは、複数回答で「樹木、花苗、種等を配布して欲しい」が最も多く、次いで「子どもや大人など幅広い世代を対象とした自然教育を実施して欲しい」、「特に何も無い」となっています。

現行計画のアンケート調査結果と比較すると、「樹木、花苗、種等を配布して欲しい」という回答が多くなっています。



※回答の多い順に表示